

# カフェの美人ママ 通っているところ にある日・・・・・・・・ ママの自宅 はカフェのビルの5階

仕事ばかりで忙しすぎて体調を崩し、趣味でやっている絵描きを仕事として模索しながらドラッグストアでパートをするという生活にシフトチェンジした俺。

貯金もまだあるので、当面は生活には困りそうにない。  
だけど一方で社員の時よりは暇も生じるようになった。

そんな時に丁度いいのが、近くのカフェへ行って店員さんやお客さんなどと話をする事だ。

俺はお酒が飲めないなので、いつもコーヒーとか紅茶を軽く頼んで1時間くらい過ごす。

ファストフードなどだとパソコンを広げて仕事をしたり会議などで数時間余裕で過ごす人もいるが、俺はそれほどは長居はしない方だ。

だけどカフェは雰囲気も落ち着くし、居心地がいい。

自宅から歩いて10分ほどの丁度交通的にもいい場所に、いいカフェを見つけている。

ふと立ち寄るととても参考になる本が置いてあったので、いい感じだなと行く回数を重ねるごとに行きつけになった。

そのママは、はじめに来た時の俺のことを覚えていてくれて、通うごとに仲が良くなった。

仕事のこと今後のことなどの話から、それなりに営業年数も長い店なので、これまでこの店で起きた出来事や自身の経験などを色々と話してもらった。

ママも色気のある年で、現在32歳の俺よりひとまわり以上

上だ。

ママの娘さんが同じ街に住んでおられて手伝いも兼ねて店にやってきたこともあった。

一度ママが少し怪しいほほ笑みを浮かべて俺にこう言ったことがある。

「娘、今旦那とあまりうまくいってないらしいの……」

なんのことだかさっぱり分からなかったが、俺は何故かその日の夜ペニスをしごきたてていた。

30分ほどしごく、

びゅっ！！びゅっ！！！！

大量の水が天井に向かって飛んでいくのが分かった。

理由は結局分からなかった。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)